

「夢中になれること」が 「生活の質・人生の質 （QOL）」を高める

クオリティ オフ ライフ
(Quality Of Life)

『自由』についてご利用者から学ぶ

ある日、事業所で職員が『自分が受けていケア（介護）とは』というテーマでグループディスカッションを行った時のことです。「何も制限されず自由が良いよね」という話が出ました。そこに通りかかった人生の先輩Aさん（認知症当事者）から、私たちの考えを覆すような言葉をいただきました。

Aさん「自由って何や？何をするんや？」

職員B「私だったら寝てるかな」

Aさん「そんなことが自由か！キャンプ行ったり、麻雀したり、何かしたいことができるってことが自由やろ」

みなさんにとって『自由』とは何でしょうか。現役世代の多くは仕事や家庭で役割があり、慌ただしい毎日を過ごしています。また、ふと気づけば携帯電話を手に取り、誰かとすぐにつながる事ができます。そのため、何かに追われず、ゆつくりと過ごせる時間に惹かれるのではないのでしょうか。

しかし、家庭での役割や社会とつながることが少なくなった時、『自由』や『時間』をどのように感じるのかを考えさせられたやりとりとなりました。

『夢中になれること』を応援する

生協のケア指針「10の基本ケア」では、生活動作（立つ・座る・歩くなど）のすべてを「生活リハビリ」としています。しかし、それが生きる目的ではありません。

何歳になっても『夢中になれること』を通して、さまざまな人と関わり合いながら生活することが、その人の生活の質、人生の質を高め、生きる意欲につながります。

畑作業に夢中!



そば打ちに夢中!



「生活リハビリ」を通して体力づくりを行い、『夢中になれること』を思い切り

できる環境を整え、人と人をつないでいくことが、私たちきらめき職員の役割と考えています。

これからもご利用者の声に耳を傾け、「したいこと」への想いを汲み取り、共に試行錯誤し『夢中になれること』を応援しQOLを高めるケアをめざしていきます。



江守きらめき
施設長 江戸 義鷹

江守きらめき
TEL.0776-35-0660
時間/9:00~17:00
(月~金)

金津きらめき

内覧会のお知らせ

新型コロナウイルス関連の感染が拡大している状況を受け、参加者様の安全を考慮した結果、開催の中止を決定いたしました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

TEL.0776-72-3901
(坂井きらめき 奥田)



高齢者介護
きらめき